



ふらり らいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 181

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦後の引揚げについて知りたい。

答) 引揚げには「引揚」「引揚げ」「引き揚げ」などいくつか表記の仕方があります。このような場合はヨミから検索すると便利です。

図書 → タイトルから探す → ひきあげ又はヒキアゲ → 166件該

タイトルヨミで検索した結果、合計で166件が該当しました。そのうち、
記録として

『戦後引揚げの記録』開架書棚 (369.37/W27)

『引揚援護の記録』閉架書庫 (369.37/H57/1)

『引揚げと援護三十年の歩み』開架書棚 (369.37/Ko83) 等、

体験手記として

『海外引揚者が語り継ぐ労苦 1～19, 追補』開架書棚 (916/H51)

『わたしたちの戦争体験 9』開架児童書棚 (913/Ta93/9) 等、

関連写真集として

『最後の引き揚げ』開架写真集棚 (369.37/I75)

『小さな引揚者』開架写真集棚 (369.37/I27) 等、

ぜひご覧下さい。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



『復員だより』と『尋ね人』



昭和 21 年 1 月 15 日からラジオで『復員だより』が始まりました。
終戦時外地にいた人々の復員・引き揚げの進行状況、引き揚げ船の入港予定、乗船者の告知、残留している同胞の状況などを放送し、肉親の帰国を今か今かと待ち望む人々に喜ばれていました。そしてその後続番組が『尋ね人』です。

7 月に始まった『尋ね人』は、更に特定の個人についての消息を尋ねる異例の番組であった。番組では、聴取者からの手紙を読み上げて消息を知る人に情報の提供を呼びかけたが、肉親や知人の消息を知りたい、あるいは留守家族に消息を伝えたいという切実な思いを込めた手紙が続々と寄せられた。

『20世紀放送史 上』699/N71/1 閉架

では実際にどのような内容が放送されていたのでしょうか。NHK アナウンサーの証言をまとめた本に記述があります。

例えば「歩兵、第一七五部隊、〇〇中隊におられた田中さん。お名前はわかりませんが、秋田地方の方です。田中さん、または、田中さんをご存知の方は日本放送協会の『尋ね人』の係へご連絡ください」

『アナウンサーたちの70年』699/N71 閉架

放送開始から 1949 年 6 月までの 3 年間に取り上げた放送依頼は 1 万 9515 件。このうち、ほぼ 3 分の 1 に当たる 6797 件について消息が判明した。判明率の高さは、人々の関心の高さを反映するものであった。

『20世紀放送史 上』699/N71/1 閉架

日本のいたるところで、大切な人の無事を願いながら祈るような気持ちで、この放送に耳を傾けていたでしょう。

『尋ね人』の放送は、昭和 37（1962）年 3 月まで 15 年と 9 か月の間続きました。



—図書室から—

15番書架の上段にて、長野県の戦中戦後に関する資料を展示しております。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 181

2015年8月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1